

タートルは風に黄土高原に落ちてしまいました。
迷子になってしまったタートルは、遠くの方にいる人を見つけました。
タートルはそっちのほうへ行って見ることにしました。



おじさん

黄土高原ってうわさには聞いたけど、
ホントに木が生えてないんだなあ。
．．．．．すごいなあ

タートル

ねえ！、おじさんたち何してるの？

おじさん

おじさんたちはねえ、日本から木を植えるに
やってきたんだよ。
会社が計画したエコツアーに参加してね。

タートル

どうして、木を植えるの？

おじさん

ここはね、昔は木がたくさんあった場所なんだ。
でもね、500年ぐらい前から人が木を切りすぎて
しまったために森林がほとんどなくなったんだよ。
そうすると、地面の水分がどんどん乾いて、砂漠化
しちゃってね、今もこの砂漠化がどんどん広がって
村や町にせまっているんだよ。

ここから300kmも離れている北京だって、
あと40年後ぐらいには砂漠化してしまうとさえ
言われているんだよ。

タートル

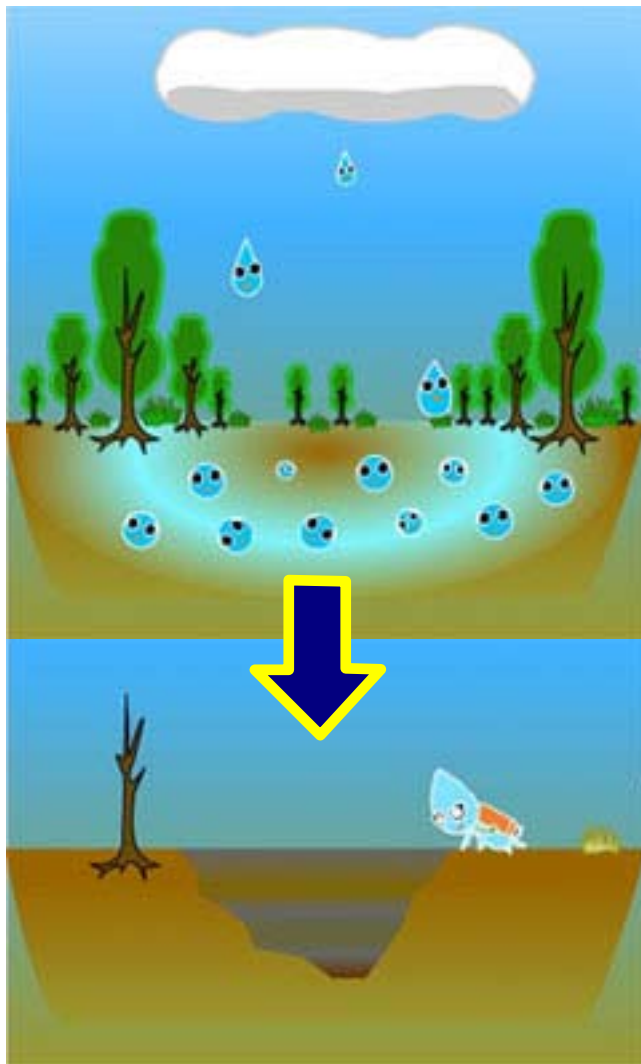
砂漠化かあ．．．

おじさん

うん、砂漠化してしまった場所ではね、雨が降っても、
その雨水が地中にしみこめないんだよ。
だから、雨がふるとね、地面の表面にある栄養たっぷりの
土が、その雨で流されちゃって良い作物が出来なくな
るんだ。
それに、こんなふうに、谷はどんどん深くなっちゃうん
だよ。

タートル

もっと砂漠化が広がったら、畑でも作物が取れなくな
って、村の人達は生活できなくなってしまうんだね。





おじさん

今でも、ここに住んでいる人たちは大変だけれどね。でももし、木がまったくなくなってしまったら、ここには住めなくなっちゃうだろうなあ。砂漠化してしまうと、もう自然にはもとに戻らないんだよ。だから、こうして人間が木を植えてこれ以上砂漠化が広がらないようにしているんだ。

タートル

やらせて！ 僕も手伝うよ。何の木を植えているの？

おじさん

家のそばには「あんず」、山の方には「松」を植えているんだよ。あんずの実はお金になるからね、まわりの人が頑張っ
て育ててくれるんだよ。

タートル

水が無いのにちゃんと育つか？

おじさん

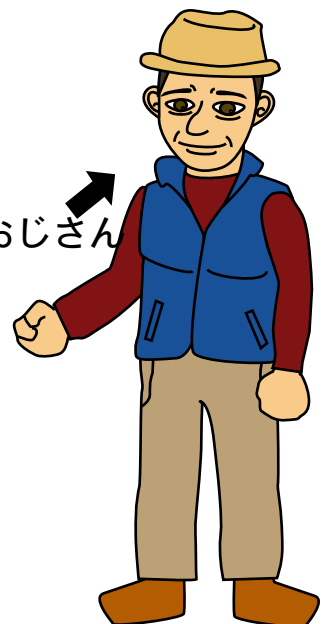
そうだね、心配だね。だから最初だけはたっぷり水をあげるんだ。貴重なお水だけれどね。それにね、厳しい環境でも育ように丈夫な苗にもしたしね。君が大人になるころには立派な木が増えているといいね。

タートル

そんなに先なんだー。頑張っ
て育つんだよ。今度地球に来るときには、ここに緑が増えているといいな。



リコーのおじさん



○ エコツアー ○

○自然環境に、あまり影響を与えないように配慮しながら自然観察や、周辺地域の住民と交流し、生活や歴史を学ぶツアー。周辺地域の住民に収入をもたらすため、貧困が原因で破壊が進む森や自然を保全する効果もあります。

リコーエコツアー開始-----2002年4月

○ 黄土高原（大同） ○

気温：-25度～37度（温度差が大きく過酷）

標高：1000m-1500m（高地）

降水量：400mm（非常に少ない）

○ 砂漠化の要因 ○

○砂漠化とは...

以前は緑があったところが砂漠になってしまう事です。この砂漠化の原因には、自然に起こるものと人間が原因のものがあります。ほとんどのものが人間が原因です。

○自然に起こる砂漠化は、雨が少なく緑の少ない乾燥地でどんどん乾燥が進み、砂漠が広がっていくことです。

○人が原因の砂漠化は、放牧、耕作、伐採を過剰にしすぎて地面がむき出しになり、雨や風で土の養分が流されて草木が生えない、やせた土地になってしまうのです。

○現在も世界で、年間600万haが砂漠化しています。（600万ha = 四国+九州 相当）

○ 中国での砂漠化について ○

○専門家によると、砂漠化の原因の5%は気候条件によるもので、95%はむやみな開拓、放牧、森林伐採など人間が原因のものだそうです。

○世界中の陸地面積の約4分の1が砂漠化の影響を受けています。砂漠化の影響を世界の人口の約6分の1の人が受けています。とても多くの人に影響を及ぼしています。

○ 黄土高原砂漠化の歴史 ○

○2200年前の秦の始皇帝時代は高原の半分は緑でした。

森林破壊が急速に進んだのは、明の時代でした。

15世紀前半に明の世祖・永楽帝は首都を北京に移し、当時、世界最大の都市を作りました。また、モンゴルの遊牧民たちの侵入を防ぐために、北京の周りに高い「万里の長城」を張り巡らせました。この都市づくりと万里の長城のレンガを焼くために大量の木が切られました。こうして決定的な森林破壊が行われ、森林は10%以下となってしまったのです。



リコーの活動

2002年4月24日～29日 リコーグループ社員とその家族で、中国黄土高原植林ツアー（エコツアー）に参加しました。NPO【緑の地球ネットワーク（GEN）】の協力のもと、素晴らしい体験ができました。



夜11時、寝台特急で北京駅を出発。300Kmを8時間かけて移動しました。

ようやく到着した大同駅は思ったよりも大きく、駅前にはタクシーがいっぱい。あちこちでクラクションが鳴りひびいてました。

到着してすぐに植林へ。
大同駅から車でわずか1時間半。地平線の彼方まで荒涼とした大地が続いています。
植林された木以外は何もありません。



一緒に植林した子供達。
土と空気は乾いていたけど、
子供達の笑顔は輝いていました。

近くの村の農家で昼食をとった後、小学校を訪問しました。
プレゼントしたサッカーボールは子供達に大人気でした。
ワールドカップモデルを用意したけど、あまり関心がなかったみたい。



リコーの活動



この日も朝から植林です。
地元の学生と一緒に大同県西坪鎮中高庄の
地球環境林で植林しました。

至ところに大きな侵食谷がありました。



大同県南郊区の地球環境林センターで植林作業
のお手伝い。ここでは、植林する苗木の研究や、
飼育が行われています。
厳しい気候条件で植林を成功させるために、
とても重要な活動です。

植林のほかに、
万里の長城や雲崗の石窟も観光
できました。
あっというまの6日間でした。

